



Make Dreams Real 夢をかたちに

地区テーマ 楽しいロータリーで、仲間を増やそう

本クラブテーマ 実践と充実感

会長報告

樋渡 美智子

- ・1月 23日 青少年交換留学生4クラブ合同会議
会長出席。
- ・1月 30日 4クラブ合同事務局会
越智幹事・飛嶋さん出席。
- ・1月 31日 地区広報・ロータリー情報委員会
セミナー 榎野さん出席。
- ・1月 31日～2月 1日
青少年交換留学生ウィンター
キャンプ 富田さん出席。

◆「万華教」

留学生のゾーイと、除夜の鐘をテレビで聞き、すぐ初詣に行き、行列に並ぶ。元日の朝、おせちを食べ、お年玉をあげ、日本の年末年始の行事について話をする。

2月4日、立春、本日の新聞折り込みチラシは4枚。その内の3枚は「恵方巻き」の宣伝にスペースをとってあった。

それによると、節分に食べる太巻きの寿司。その年の恵方（今年は東北東）を向いて丸かぶりし、1年の健康や幸せ、商売繁盛を願う。福を巻き込み丸ごと吃るのは縁を切らないと――。

もう一枚のチラシには、目を閉じて一言もしゃべらず、願い事を思い浮かべながら丸かぶり――。

3枚目のチラシは、庄内招福寿司と。

恵方巻きは10数年前に大阪のコンビニエンスで始めたという事であるが、詳細はわからない。その後、全国的に広がり、一昨年度は庄内の寿司屋には1000本の注文があったという。

さて、年末からの日本の風習についてひろってみ

2月は…

世界理解月間

国際ロータリー2800地区 鶴岡ロータリークラブ

第2441回(本年度第28回)例会 2009.2.3

●例会日／毎週火曜日(12:30～13:30)

●例会場／東京第一ホテル鶴岡

鶴岡市錦町 2-10 Tel. 0235-24-7611

クラブホームページアドレス <http://www.tsuruokarc.org/>

ると、12月24日のクリスマスイヴには、キリスト教の信者になってケーキを食べ、12月31日の大晦日には仏教徒になってお寺へ行き、除夜の鐘を聞いたり打ったりし、1月1日の元旦には神道の氏子になって、神社へ初詣をする。

平成14年出版「日本村100人の仲間たち」。日本の人口を100人として計算すると、76人が仏教徒という。しかし、時と場所によってクルクル変わるので日本村は「万華教」です。と。

2月3日には恵方巻きで福を招き、2月14日にはチョコレートに愛をたくして。まさにクルクル変わるのであります。

幹事報告

越智 茂昭

◎ガバナー事務所より

・第100回バーミンガム国際大会の案内

・RID2800 メーリングリスト設定のお願い

・09～10年度メールアドレスアンケート

◎後藤第2ブロックガバナー補佐

IM 報告書

◎会津若松南ロータリークラブ

鰐汁例会に対するお礼状。会報到着。

◎ロータリー財団

国際ロータリーとロータリー財団年次報告書

林業の現状と課題

榎本 政規

日本の林業状況は昭和35年から始まった木材自由化をきっかけとして、輸入材消費の比率が次第に高くなり、国内からの供給量は下降線をたどりはじめました。



出席報告

会員数	46名
出席	29名
出席率	69.05%
前々回確定出席率	64.29%

■ RI会長 李 東 建	■ 地区ガバナー 武田和夫
■ 会長／樋渡美智子	■ 副会長／佐藤孝子
■ 会報委員会／松井 亨・北川米三	■ 幹事／越智茂昭

事務局：鶴岡市馬場町11-63鶴岡産業会館3階 TEL (0235)28-3375 FAX (0235)28-3376 E-mail:tsuruoka08@rid2800.jp



創立50周年式典
2009年4月18日

同時に建築工法の多様化や代替材の進出により、建築用材としての木材需要も低下し、木材価格も長期的な低迷が続き、林業現場でも老齢化などによって労働力の質的な低下傾向を生じ、供給率も最近では20%に落ち込んでいます。また人件費の上昇などにより、採算性の悪化をもたらし、林業経営は極めて困難であるのが現状であります。



鶴岡市は合併により行政面積1311km²となり、うち林野面積95,053haで市域72%にあたる広大な面積を占めている。また林業生産にとって適地とされている標高800m以下の比較的低い山地にあり民有林の人工林面積は20,415haで民有林全体の45%を占め、県平均の39%を上回っている状況です。林業家、林業経営体数は平成12年で3,148戸あったものが、平成17年では1,180戸と約1/3になっております。激減したのは3ha未満の小規模林家が売買等により減少したようあります。

工場土場着単価も昭和55年の国産材でスギ小丸太26,500円/m³、中丸太で33,800円/m³、大丸太で40,900円/m³、であったものが平成19年度では各々10,600円/m³、13,200円/m³、15,300円/m³に落ち込んでおります。自ずと生産土場単価は伐採、搬出費用等々を差し引きますと1/10程度になります。林業家の再生産は最低3,000円と言われておりますので到底再植林をして40~50年間の手入れ費用も出ない状況にあります。この様な状況にありますので管理放棄森林は増え、再植林をしない、ハゲ山、荒れ山が増加しております。

平成21年からの10ヵ年鶴岡市総合計画の主な推進プロジェクトのなかで、鶴岡市は、森林文化都市構想推進プロジェクトとして、森林と市民とがふれあう仕組み等の整備推進、子供たちが森林とふれあう機会の創出、活動拠点となるフィールドづくり、循環型社会をめざす森林資源の利活用の推進、森林の適正な維持管理の推進、里山文化、伝統文化の継承をめざしております。

また森林再生プロジェクトの一環として、木材の地産地消推進プロジェクトを立ち上げ、合併により広大になった森林は、豊かな恵みをもたらす貴重な資源であり、杉など鶴岡産木材を地元の住宅建設などに積極的に活用することにより、植林を進め、森林資源が循環する地球環境にやさしいまちづくりと新たな森林再生を強力に推進するとしております。

森林への関心を高め、愛着を感じるように小中学校（現在鼠ヶ関小学校が地場温海産の杉材を使った木造校舎を建築中。今後1小、4小、羽黒中、朝日中が建築予定）をはじめとする公共建築物（仮称藤沢周平記念館を含め）に鶴岡産木材を積極的に活用することとしております。今後、地元森林組合、製材会社、住宅建築会社等と連携し、鶴岡産木材を利用した家づくりの推進や林業に従事しやすい環境を構築するための林道作業道等の路網整備とともに、間伐等の森林施業を促進、林業の機械化による木材生産コストの低減や木材の流通経路の見直しによる流通コストの低減などが課題となると考えます。

1次産業のなかで最も先が見えない林業ですが人が生きて行くうえで欠くことのできない森林を守るために微力ですが細々と頑張っていこうと思っております。

委員会報告

SAA・出席委員会

●メーカアップされた方

藤川享胤 阿部純次 富田喜美子 富樫松夫
本間 厚 越智茂昭 樋渡美智子 佐藤友行
青柳孝治 塚原初男 榎野隆博 若生恒吉
秦幸助 真島吉也

●ビジター

後藤 正 AG（鶴岡南ロータリークラブ）

親睦委員会

●2月誕生日

会員誕生 斎藤昭君 本間厚君 阿部純次君
奥様誕生 牧一美様

●スマイル

吉野隆一君 妻の誕生日プレゼントありがとうございました。

樋渡美智子君 2月1日、ゾーイさんのホストクラブが鶴岡東に移りました。期間中多くの方にお世話になりました。有意義に過ごせたと思います。

佐藤孝子君 榎本さんスピーチありがとうございました。久しぶりに川崎大師さんへお参りに行つてきました。

塚原初男君 欠席のお詫びと、榎本さんの素晴らしいお話を林業応援団としてスマイルします。

後藤正君 IMには多数の参加いただき感謝します。また新入会員セミナーに出席よろしくお願いします。鶴岡クラブの年次目標の達成を期待いたします。